

## 8. オプション

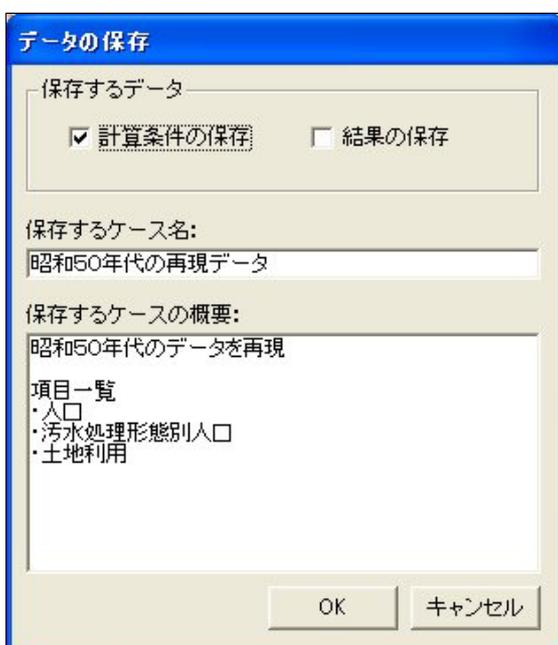
### 8-1. データの保存

基本条件や対策量の設定条件をケースとして保存します。

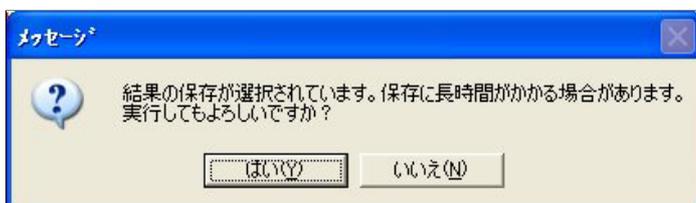
- 1) 霞ヶ浦水循環 GIS システムツールバーから「オプション」 「データの保存」をクリックします。



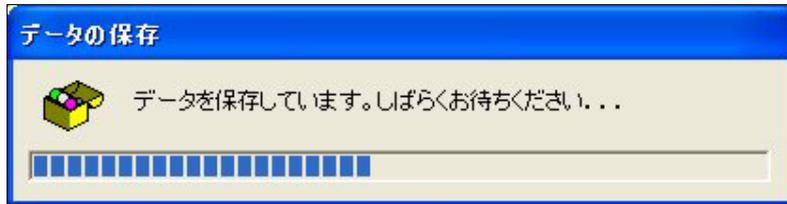
- 2) 「データの保存」メニューが表示されます。デフォルトで「計算条件の保存」チェックボックスがチェックされています。保存するケース名・保存するケースの概要を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



「結果の保存」チェックボックスがチェックされている場合、下記のダイアログが表示されます。「はい」で答えた場合、流域モデルの結果ファイルも保存されます。



- 3) 「データを保存しています。しばらくお待ちください...」ダイアログが表示されます。データが「User」フォルダ下に保存されます。



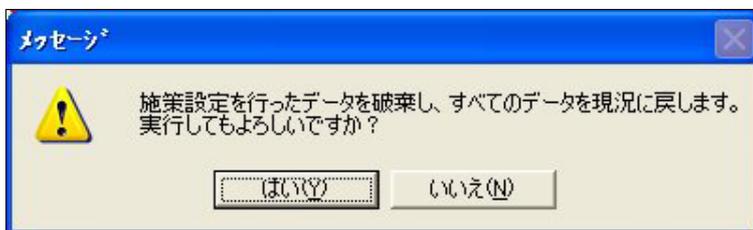
## 8-2. データを現況に戻す

現在設定されている基本条件や対策量を破棄し、現況データに戻します。

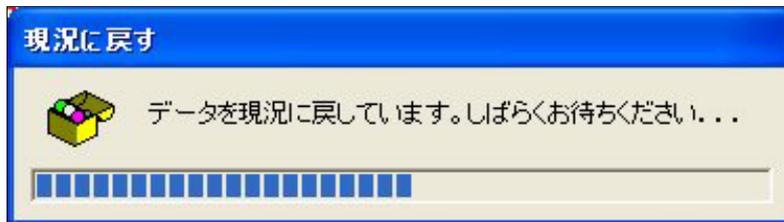
- 1) 霞ヶ浦水循環 GIS システムツールバーから「オプション」 「データを現況に戻す」をクリックします。



- 2) 「実行してもよろしいですか？」ダイアログが表示されます。「はい」をクリックします。



- 3) 「データを現況に戻しています。しばらくお待ちください...」ダイアログが表示されます。現在設定されている基本条件や対策量を破棄し、現況データに戻ります。



### 8-3. 施策設定ログの表示

現在設定されている基本条件や対策量のログをテキストエディタで表示します。

- 1) 霞ヶ浦水循環 GIS システムツールバーから「オプション」 「施策設定ログの表示」をクリックします。



- 2) 現在設定されている基本条件や対策量のログをテキストエディタで表示します。

